

磐城時報

福島縣石城郡平町編屋町十四
印刷部 加納 田中 成
編輯部 加納 田中 成
發行部 加納 田中 成
印刷部 加納 田中 成
電話 一四一五
代金 一ヶ月 一圓二角
半年 六圓
一年 一十二圓
廣告料 一行 一圓
（日曜、祭日）休刊

小名濱疑獄事件公判 傍聽人公判廷に溢る

樽木技師は豫審の通り 罪状一切を否認す

小名濱商港修築に關する疑獄事實を述べた後、島判事は被告の公判は愈々十三日から平支、小名濱町字定西二二六内務省部中島裁判長係りで開廷された。技師樽木篤夫（四一）が、當時社會の耳目を聳動せしめた大事件たけあつて傍聽人は早朝から公判廷に詰めかけ、公廷内外に溢れる雑踏を呈した。公廷内外には百數十名集まり、平警察署から警官が出張し、嚴重な警戒に努めた。午前十時、事件の中心人物樽木元所長は、羽織袴に編笠をかぶり看守に護られて出廷、他の被告並に辯護士東京小林、林、平町安齋、安藤、門傳、松野尾、増田、山野邊の各氏列席午前十時半公判の五名は贈賄の罪状一切を豫審が開かれた。立會檢察官が公訴事通リ陳述して正午休憩した。

湯本町議選舉終る 棄權僅かに四分

湯本町の町會議員選舉は十二日投票數二千三百四十一名に達し、午前七時から舉行されたが、表棄權僅かに百九名、棄權率約四分、町伊藤八右衛門さんが一の番強に過ぎず極めて好成績であつた。投票五時締切つたが、確定名は、當選左の如くである。

當選
一 九二票 松繁 庄一
中失格者百九十三名で十二日現在
一六六 比佐 源造
在右権者二千四百五十名に對し

一五八	若松 修一
一五三	須藤 熊雄
一四六	生田 嘉清
一四三	比佐 實司
一四〇	鈴木 稻實
一三九	大和田 主馬造
一一七	矢吹 莊司
一一五	上川 才松
一一二	高木 晃
九〇	木村 徳三郎
八八	鯨岡 誠祐
八六	渡邊 賢司
八一	小井戸 大次
六七	若松 孝平
三八	熊上 作馬
一一	比佐 昌平
一一	村上 六平

平鐵道方面に 選舉違反事件 十三日十一名を引致

平鐵道局三堀檢察事は十三日早朝、平警察署に出張し平驛から富田某外七名を引致し取調べ中であるが、仄聞するに右は平町會議員選舉に於て候補者某々三名のたため運動を行ひ選舉違反の事實が投書によつて暴露したもので、成行を注目されてゐる。

▲石城の託兒所

石城郡下各町村で左の如く農繁期託兒所を開設する。

三町村長等 内務省に陳情

勿來川は現在中小河川に編入されて居り昭和七八兩年度勿來町錦村、川部村各投資一萬八千圓をもつて施行中であるが未だ完成に至らず地方農村への影響を多ぶるので十二日赤津勿來町長、錦、川部兩村長はじめ三町村會議員八名は内務省を訪問唐澤土木局長と面會五萬圓の經費をもつて國直轄の事業として施行されたい旨熱心に陳情するところあつたが、源義家によつて天下に名高い勿來關跡が未だ史蹟名勝念天然記物に編入されてゐないのを遺憾としこれが指定地編入方について陳情するところあつた。

失業者の登録 毎日六十人位殺倒

平町の匡救事業
來月初旬から着工

水量増加

平町では磐城炭礦經營の平發電所から來一ヶ月千四百立方尺の水を供給してゐたが、發電所で今後二千八百立方尺の水が入用になつたので十三日磐城炭礦用地係佐川芳松氏が平町役場に青沼町長を訪ひ供給方を交渉する處があつたが同計劃は疑に平町會に於て議決済であるので町では直ちに工事にとりかゝる事になつた。

四倉町で種痘

四倉町では十三日午後一時より四倉町第一期一回の種痘を施行した。

吉田彌十郎氏 金婚式

四倉町新町吉田彌十郎氏は結婚後五十年に達し夫婦共に健全であるが、十三日金婚式を舉行した。

石城地方の 春蠶況

石城郡下の春蠶況は屢報の如く天候順調のため成績良好で豫定の十萬貫を突破する收購を見るであらうと言はれてゐるが、十日午前赤井井村大字塩田柴崎甚吉氏の白繭八貫が平町で初取引されたが、御祝儀相場は六十二圓であつた。昨年度の初取引相場二十八圓五錢に比べると非常な高値である。尚ほ石城郡内に於ける繭市場は四倉十七日、植田、勿來は十八日春繭取引を開始する事になつた。

相馬支局通信

▲原町の初町會

相馬郡原町の初町會は六月十日午後一時より原町公會堂に於て開會、二三議案の審議後會計検査立會人の選舉の結果佐藤清四郎、門馬雄造、星榮の三氏當選午後四時閉會後岩城旅館にて懇親會を催した。

▲原町の野球

相馬郡原町体育野球大會は六月十八日同町雲雀ヶ原グラウンドに於て舉行する。

▲相馬のアユ

相馬郡内新田川、宇多川、太田川は春以來氣候の溫暖なりしたため近年になく蕃殖し七八寸位に成育して釣連中は七月一日の解禁を待つて居る。

▲相馬水不足

相馬郡地方は先月末よりの降り續きのため水不足となり植付の出來ざる反別數百町歩以上にて農家は非常に憂慮して居る。

自動車で 老婆慘死

十日午後八時頃石城郡勿來自動車店北野廣作方運轉手榎田利夫（一八）は無免許で貸切を運轉し同町松通地内縣道にさしか、つた際同所白山本間つき（一六）が孫の後を追つて道路を横切らんとしたのを引き倒し同女は左足挫傷内臓出血を起して十一日朝死した。

郡山から尋ねて來た少年

十三日午前十時頃平驛前を徘徊情を聞くと、右は郡山市柳町二丁目にある少年を平署員が発見事七仙次二男齋藤榮造（一八）で實

祖母の金を盗んで逃げる

大野村大字山田小港字山田一鈴木スイ(六六)方不在中十日午前十時頃何者か忍び入り筆筒からスイの貯金四十四圓を窃取した犯人あり、駐在所に届け出たので平塚巡査が調査した處スイの孫鈴木正一(二二)の所爲と睨んだが正一は平塚村方面に逃走したので追跡し十三日平塚村坂本某方に潜伏中を逮捕したが四十四圓のうち三十八圓五十錢を費消してゐた。

田植の賃金

石城郡下の田植は本月下旬から一せいに開始されるので平町附近農村では今から田植人夫の豫約を行つてゐるが、賃金は晝食もち男七十錢、女五十錢で男女各二圓五十錢にもなつた三年前に比較すれば話にはならず昨年より八十錢乃至一圓に比しても約半減されたので何れも悲觀してゐる。

平町に

舞踊の教授所

日本舞踊協會員でその新作舞踊發表機關たる「おどる座」を牛耳つてゐる花柳徳三郎氏は今回平町に舞踊教授所を開設する事になつたが、地方の新進都市としてこうした方面のあたらしい空氣に觸れる事を望んでゐるむきも少なくないらしく將來を期待されてゐる。

平町人事

▲出生
柳町九内郷村宮字竹之内土岐文夫長男武文
▲死亡
研町横濱市神奈川區千若町一丁目二稻葉タマ(七〇)、南町茨城縣多賀郡日高村米津佐々木長五郎(三三)

地味
豆を
魚食部
電話三三三番

當選御禮

今回久之濱町會議員改選に際し各位の御情同に依り當選致し候に付紙上を以て厚く御禮申上候
敬具
昭和八年六月十三日

- 佐々木系平 (順不同)
- 新妻定藏
- 鯨岡儀助
- 片寄寅次郎
- 酒井元廣
- 木村善五郎
- 新妻房良
- 新妻雄一

醫院開設

小兒科科專門

相馬郡原町東一番丁(原町座東)

院主 醫學士 佐藤 博
電話二三八番

華道教授

私事これまで東京、静岡兩市に於て華道教授に従事致してをりましたが都合により今般郷里泉村大字泉字泉に歸宅致しましたので左の如く六月より華道の教授に従事致す事になりました。未熟ではあります精々親切丁寧を旨とし教授致す決心です。何卒御入門下さる様お勧め申上げます

教授場所

- ▲自宅 泉村大字泉字泉一七五番地 毎週月曜日午前八時より午後九時迄
- ▲平町 平驛前 芳香園理髮器具店 毎週火曜日午前八時より午後九時迄
- ▲小名濱町 小名濱町字本町壽福院 毎週日曜日正午より

(月謝一ヶ月一圓)

立華、生花 華道教授
池坊龍生派
松翠庵 石井壽詠
外に盛花、投人も教授致します

貸切御用命

ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

平町田町(電話五一三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

耳鼻咽喉科専門

平町田町七十番地

山内醫院

醫學士 山内亨吉
入院隨意 病室完備
電話六九一番

各種運動具 特賣

△軟式用 最新型 ミツロフ
△硬式用 優秀なる野球バンド
◎競技用弊店 獨特なる
弊店製 スパイク
◎各種 運動服裝類
ごよりの安價に
御用命は 大塚運動具部
平・田町 電話七七番

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番